

単元名 [小数×小数（啓林館）] [小数のかけ算（東京書籍）]	① ② (/ 2) (/ 3) (/ 3) (/ 8) 知識・理解 技能 考え方
5年 () 組 () 番 名前 ()	得点 (/ 8)

○ 次の問いに答えましょう。

① □にあてはまる数をかきましょう。

$$\begin{array}{rcl}
 2.5 & \times & 0.4 & = \\
 \downarrow 10 \text{ 倍} & & \downarrow 10 \text{ 倍} & \uparrow \square \text{ 倍} \\
 25 & \times & 4 & = 100
 \end{array}$$

② 積が1.7より小さくなるのは、㊦、㊧、㊨のどれでしょう。

㊦ 1.7×1 ㊧ 1.7×1.05 ㊨ 1.7×0.9

[①②知識・理解]

○ かけ算をしましょう。

③ 60×0.4

④ 0.8×0.05

○ 筆算でしましょう。

⑤ 0.35×0.31

[③～⑤技能]

○ 次の問いに答えましょう。

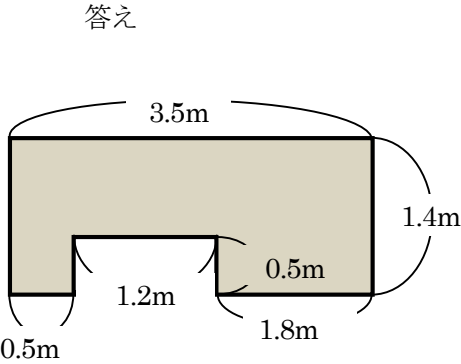
⑥ 家から駅までの道のりは1.4kmで、家から図書館までの道のりは、駅までの道のりの2.5倍です。家から図書館までの道のりは、何kmでしょう。

式

○ 右のような形の花だんがあります。よしおさんは、「これは、3つの長方形を組み合わせてできた形だよ。」と言いました。次の問いに答えましょう。

⑦ よしおさんの考えを使って、花だんの面積を求めましょう。

式



答え

⑧ かずこさんは、「花だんの面積を求めるには、まず、1.4×3.5をするわ。」と言いました。かずこさんの考えを使って、面積を求めましょう。

式

答え

[⑥～⑧ 考え方]

小学校第5学年単元別確認テスト3 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単 元 名		〔 3 小数×小数（啓林館P36～P47） 〕 〔 4 小数のかけ算（東京書籍P34～P47） 〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		（3）小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	（小数）×（小数）の計算の仕方を理解している。	$\frac{1}{100}$			○		○		90%
②	1より小さい小数をかけると、積が被乗数より小さくなることを理解している。	ウ			○	○			90%
③	（整数）×（小数）の計算ができる。	24		○			○		90%
④	（小数）×（小数）の計算ができる。	0.04		○			○		80%
⑤	（小数）×（小数）の筆算の計算ができる。	0.1085		○			○		80%
⑥	問題文から（小数）×（小数）の式を考え、答えを求めることができる。	（式） $1.4\times2.5=3.5$ （答え）3.5km	○				○		75%
⑦	問題文から、（小数）×（小数）及び加法の式を考え、複合図形の面積を求めることができる。	（式） $0.5\times1.4=0.7$ $1.2\times0.9=1.08$ $1.8\times1.4=2.52$ $0.7+1.08+2.52=4.3$ （答え） 4.3m^2	○				○		75%
⑧	問題文から、（小数）×（小数）及び減法の式を考え、複合図形の面積を求めることができる。	（式） $1.4\times3.5-0.5\times1.2=4.3$ （答え） 4.3m^2	○				○		70%
合 計 8 問			3	3	2	1	7	0	81%

小学校5年生
 単元別確認テスト
 4

単元名： [小数÷小数（啓林館）] [小数のわり算（東京書籍）]	①～③ (/ 3) 知識・理解	④～⑥ (/ 3) 技能	⑦～⑨ (/ 3) 考え方	得点 (/ 9)
5年 () 組 () 番 名前 ()				

○ 次の（ア）と（イ）をくらべて、積や商の大きい方をえらび、記号で答えましょう。

- ①
 (ア) $5.1 \div 1.2$
 (イ) $5.1 \div 0.8$
- ②
 (ア) 4.1×1.2
 (イ) $4.1 \div 1.2$
- ③
 (ア) 3.1×0.8
 (イ) $3.1 \div 0.8$

[①～③ 知識・理解]

○ 次の計算を、筆算でしましょう。
 割り切れない場合は、商を四捨五入して小数第一位までの概数で求めましょう。

- ④ $7.2 \div 1.5$
- ⑤ $1.57 \div 3.14$
- ⑥ $16.8 \div 2.6$

[④～⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。
 ⑦ 面積が 76.8 cm^2 、たての長さが 4.8 cm の長方形があります。
 横の長さは、何 cm でしょう。

(式)

⑧ 鉄のぼうがあります。長さが 3.25 m で、重さが 14.95 kg です。
 この鉄のぼう 1 m の重さは何 kg でしょう。

(式)

⑨ お茶が 2.6 L あります。コップに 300 mL ずつづぎ分けていきます。
 コップに何ばいつけて、何 L のこりますか。

(式)

[⑦～⑨ 考え方]

小学校第 5 学年 単元別確認テスト4 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔 4 小数÷小数（啓林館P50～P61）〕〔 5 小数のわり算（東京書籍P48～P63）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め，それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして，乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え，それらの計算ができること。また，余りの大きさについて理解すること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	除数が1より大きい場合と小さい場合での商の大小関係を理解している。	(イ)			○	○			80%
②	乗数と除数が1より大きい場合の商と積の大小関係を理解している。	(ア)			○	○			80%
③	乗数と除数が1より小さい場合の商と積の大小関係を理解している。	(イ)			○	○			80%
④	商が帯小数となる（小数÷小数）の計算ができる。	4.8		○			○		90%
⑤	商が純小数となる（小数÷小数）の計算ができる。	0.5		○			○		90%
⑥	わり切れない商を四捨五入する（小数÷小数）の計算ができる。	6.5		○			○		80%
⑦	長方形の面積公式をもとに立式し，答えを導くことができる。	(式) $76.8 \div 4.8 = 16$ (答え) 16cm	○				○		80%
⑧	問題場面を読み取り，立式し，条件に合う答えを導くことができる。	(式) $14.95 \div 3.25 = 4.6$ (答え) 4.6kg	○				○		70%
⑨	問題場面を読み取り，立式し，答えと余りを導くことができる。	(式) $2.6 \div 0.3 = 8 \cdots 0.2$ (答え) 8杯 0.2L 残る	○				○		60%
合 計 9 問			3	3	3	3	6	0	79%

小学校第5学年 単元別確認テスト12

単元名	〔単位量あたりの大きさ(啓林館)〕	〔単位量あたりの大きさ(東京書籍)〕	①② (/ 2)	③～⑤ (/ 3)	⑥⑦ (/ 2)	得点 (/ 7)
5年	()組	()番	名前 ()	知識・理解	技能	考え方

○ 広さ4㎡の小屋に、うさぎが12わいます。次の問いに答えましょう。

- ① 1㎡あたりのうさぎの数を求める式をかきましょう。

- ② 1わあたりの小屋の広さを求める式をかきましょう。

〔①②知識・理解〕

○ 次の問いに答えましょう。

- ③ Aセットのノートは6さつで480円、Bセットのノートは4さつで360円です。1さつのねだんが安いのは、AセットBセットのどちらでしょう。

式

答え

- ④ ある市の人口は約68万人で、面積は80km^{みつど}です。この市の人口密度を求めましょう。

式

答え

- ⑤ AとBのじゃ口から水が出ます。Aのじゃ口からは、3分間で120Lの水が出ました。Bのじゃ口からは、5分間で190Lの水が出ました。1分間に出る水の量が多いのは、AとBのどちらのじゃ口でしょう。

式

答え

〔③～⑤技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑥ ガソリン1Lあたり8km走る車があります。この車で96kmのきよりを走りました。使ったガソリンのねだんはいくらになるでしょう。1Lあたりのガソリン代は120円です。

式

答え

- ⑦ 誕生日会の案内状を印刷します。始めに1分間に30枚印刷できるプリンターAで3分間しました。そのあとに、プリンターBで4分間印刷して、全部で230枚の案内状ができました。プリンターBでは、1分間に何まいの案内状が印刷できるでしょう。

式

答え

〔⑥⑦考え方〕

小学校第5学年単元別確認テスト12

出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔11 単位量あたりの大きさ（啓林館P146～P151）〕〔10 単位量あたりの大きさ（東京書籍下P10～P18）〕						
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について，その比べ方や表し方を理解できるようにする。 ア 単位量あたりの大きさについて知ること。						
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式		
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式
①	1 m ² あたりの数の求め方を理解している。	12 ÷ 4			○		○	90%
②	1羽あたりの広さの求め方を理解している。	4 ÷ 12			○		○	90%
③	1冊あたりの値段を比べることができる。	Aセット 480÷6=80 Bセット 360÷4=90 安いのは， Aセット		○			○	80%
④	人口と面積から人口密度を求めることができる。	680000÷80=8500 8500人（人/km ² ）		○			○	80%
⑤	1分間にでる水の量を比べることができる。	120÷3=40 190÷5=38 Aのじゃ口		○			○	80%
⑥	単位量あたりの考えを使って答えを導くことができる。	96÷8=12 120×12=1440 1440円	○				○	70%
⑦	単位量あたりの考えを使って答えを導くことができる。	30×30=90 230-90=140 140÷4=35 35枚	○				○	70%
合 計 7 問			2	3	2	0	7	0
								80%

小学校第5学年
 単元別確認テスト
 13

<div> 単元名 〔分数(2)(啓林館)〕 〔分数のかけ算とわり算(東京書籍)〕 </div>	<div> ①② (/ 2) </div>	<div> ③～⑥ (/ 4) </div>	<div> ⑦～⑨ (/ 3) </div>	<div> 得点 (/ 9) </div>
<div> 5年 () 組 () 番 名前 () </div>	<div> 知識・理解 </div>	<div> 技能 </div>	<div> 考え方 </div>	

- 次の問いに答えましょう。

① □にあてはまる数を答えましょう。

$\frac{3}{5} \times 4$ は、 $\frac{1}{5}$ が ($3 \times \square$) 個分です。

② $\frac{3}{4} \div 2$ の計算の仕方が正しいものを、次の (ア) ～ (ウ) から1つ選んで記号で答えましょう。

(ア) $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3}{4 \div 2}$

(イ) $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3}{4 \times 2}$

(ウ) $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3 \div 2}{4 \div 2}$
- [①② 知識・理解]
- 次の計算をしましょう。答えが約分できるときは、約分しましょう。
- ③ $\frac{2}{11} \times 4$
- ④ $\frac{4}{9} \times 6$
- ⑤ $\frac{2}{5} \div 3$
- ⑥ $\frac{4}{7} \div 6$
- [③～⑥ 技能]
- 次の問いに答えましょう。

⑦ 1辺の長さが $\frac{2}{3}$ mの正方形があります。この正方形のまわりの長さは何mでしょう。

式

答え

⑧ 3 dL のペンキを使って $\frac{5}{6}$ m²のかべをぬりました。このときペンキ1 dL で何m²のかべをぬったことになるでしょう。

式

答え
- ⑨ 鉄のぼう 3 mの重さをはかったら $\frac{6}{7}$ kgありました。この鉄のぼう1 mの重さは、 $\frac{1}{3}$ kgより重いか軽いかわけを答えましょう。また、その理由もかきましょう。
- | 重い | 軽い |
|---|----|
| <div> [理由] </div> | |
- [⑦～⑨ 考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト13 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単 元 名		〔 1 2 分数(2) (啓林館P152～P155) 〕〔 1 5 分数のかけ算とわり算 (東京書籍下P94～P101) 〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。 カ 乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	分数×整数の計算の仕方を理解している。	4			○		○		90%
②	分数÷整数の計算の仕方を理解している。	イ			○	○			90%
③	真分数×整数(約分なし)の計算ができる。	$\frac{8}{11}$		○			○		80%
④	真分数×整数(約分あり)の計算ができる。	$\frac{8}{3}$ ($2\frac{2}{3}$)		○			○		80%
⑤	真分数÷整数(約分なし)の計算ができる。	$\frac{2}{15}$		○			○		80%
⑥	真分数÷整数(約分あり)の計算ができる。	$\frac{2}{21}$		○			○		80%
⑦	題意をとらえ、真分数×整数の計算を使って答えを考えることができる。	式 $\frac{2}{3} \times 4 = \frac{8}{3}$ 答え $\frac{8}{3}$ m ($2\frac{2}{3}$ m)	○				○		80%
⑧	題意をとらえ、真分数÷整数の計算を使って答えを考えることができる。	式 $\frac{5}{6} \div 3 = \frac{5}{18}$ 答え $\frac{5}{18}$ m ²	○				○		75%
⑨	題意をとらえ、真分数÷整数の計算を使って答えを考え、その答えを導き出した理由も説明できる。	(答え) 軽い (理由) ※1mの重さで比較 $\frac{6}{7} \div 3 = \frac{2}{7}$ で、鉄のぼう1mの重さは、 $\frac{2}{7}$ kg。 $\frac{2}{7}$ と $\frac{1}{3}$ の大きさをくらべると、 $\frac{2}{7} = \frac{6}{21}$ 、 $\frac{1}{3} = \frac{7}{21}$ で、 $\frac{2}{7}$ の方が小さいから。 ※3mの重さで比較 $\frac{6}{7}$ kgと $\frac{1}{3} \times 3 = 1$ kg をくらべると $\frac{6}{7}$ の方が小さいから。	○					○	70%
合 計 9 問			3	4	2	1	7	1	81%

小学校第5学年 単元別確認テスト 15

単元名 〔割合（啓林館）〕〔百分率とグラフ（東京書籍）〕	①② （ ／２） 知識・理解	③～⑥ （ ／４） 技能	⑦⑧ （ ／２） 考え方	得 点 （ ／８）
５年 （ ）組 （ ）番 名前（ ）				

○ 次の問いに答えましょう。

- ① (ア) と (イ) の2種類のくじがあります。当たりやすいのはどちらでしょう。

(ア) 50本中20本の当たりが入っているくじ

(イ) 20本中9本の当たりが入っているくじ

--

- ② 野球の試合で、20試合のうち、12回勝ったときの、勝った割合を答えましょう。

[①② 知識・理解]

○ □にあてはまる数を求めましょう。

- ③ \square kgの12%は、60kgです。

- ④ 4 mは, 25 mの□%です。

○ 次の表は、ゆうたさんの学校の図書室で、4月と5月に貸し出した本の数を種類別に表にまとめたものです。

種類	数 (さつ)	割合 (%)
物語	202	42
伝記	134	28
科学	67	14
その他	77	16
合計	480	100

種類	数（さつ）	割合（％）
物語	2 1 6	4 8
伝記	1 1 7	(ア)
科学	5 4	1 2
その他	6 3	1 4
合計	4 5 0	(イ)

- ⑤ 表の (ア), (イ) に入る数を書きましょう。

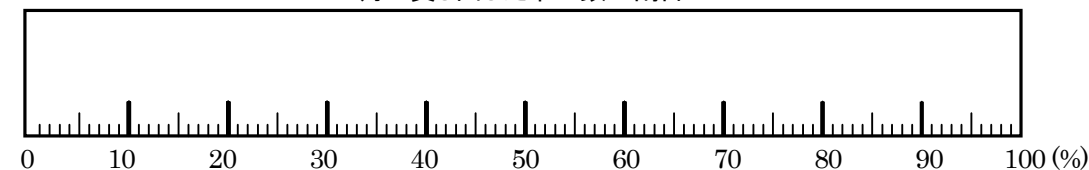
(ア)

--	--

(1)

- ⑥ 5月に貸し出した本の数の割合を帯グラフに表しましょう。

5月に貸し出した本の数の割合



[③～⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑦ バスに48人乗っています。これは、定員の80%です。このバスの定員は何人でしょう。
- 式

答え

- ⑧ 定価900円のサッカーボールを、Aの店では30%引きで、Bの店では300円引きで売っていました。どちらの店が、何円安いでしょう。求め方も説明しましょう。

[illegible]

[78] 考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト 15 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔13 割合（啓林館P168～P184）〕〔13 百分率とグラフ（東京書籍下P54～P73）〕							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 百分率について理解できるようにする。 (4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し，円グラフや帯グラフを用いて表したり，特徴を調べたりすることができるようにする。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	割合を用いて，当たりやすさを比べることを理解している。	(イ)			○	○			90%
②	割合の求め方を理解している。	0.6			○		○		90%
③	割合と比べる量を使って，もとにする量を求めることができる。	5 0 0		○			○		80%
④	割合を百分率で求めることができる。	1 6		○			○		90%
⑤	表に示された数値をもとに百分率を求めることができる。	(ア) 2 6 (イ) 1 0 0		○			○		90%
⑥	表の百分率をもとに，帯グラフをかくことができる。	省略		○			○		80%
⑦	比べる量と割合を使って，もとにする量を求める式を立て，答えを考えることができる。	$48 \div 0.8 = 60$ 60人	○				○		80%
⑧	割合を用いて値段を比べ，そのわけを説明することができる。	Aの店は，900円の30%引きで売っているの で，900円の70%が売値になる。 $900 \times 0.7 = 630$ 円。 Bの店は，900円の300円引きで売っているの で，売値は $900 - 300 = 600$ 円 売値を比べると，Bの店のほうが30円安い。 (別解) Aの店は，900円の30%引きなので $900 \times 0.3 = 270$ の270円引き。 Bの店は，300円引き。 270円引きと300円引きでBの店の方が30円安 い。	○					○	70%
合 計 8 問			2	4	2	1	6	1	84%